

2 無線 LAN を導入できた企業

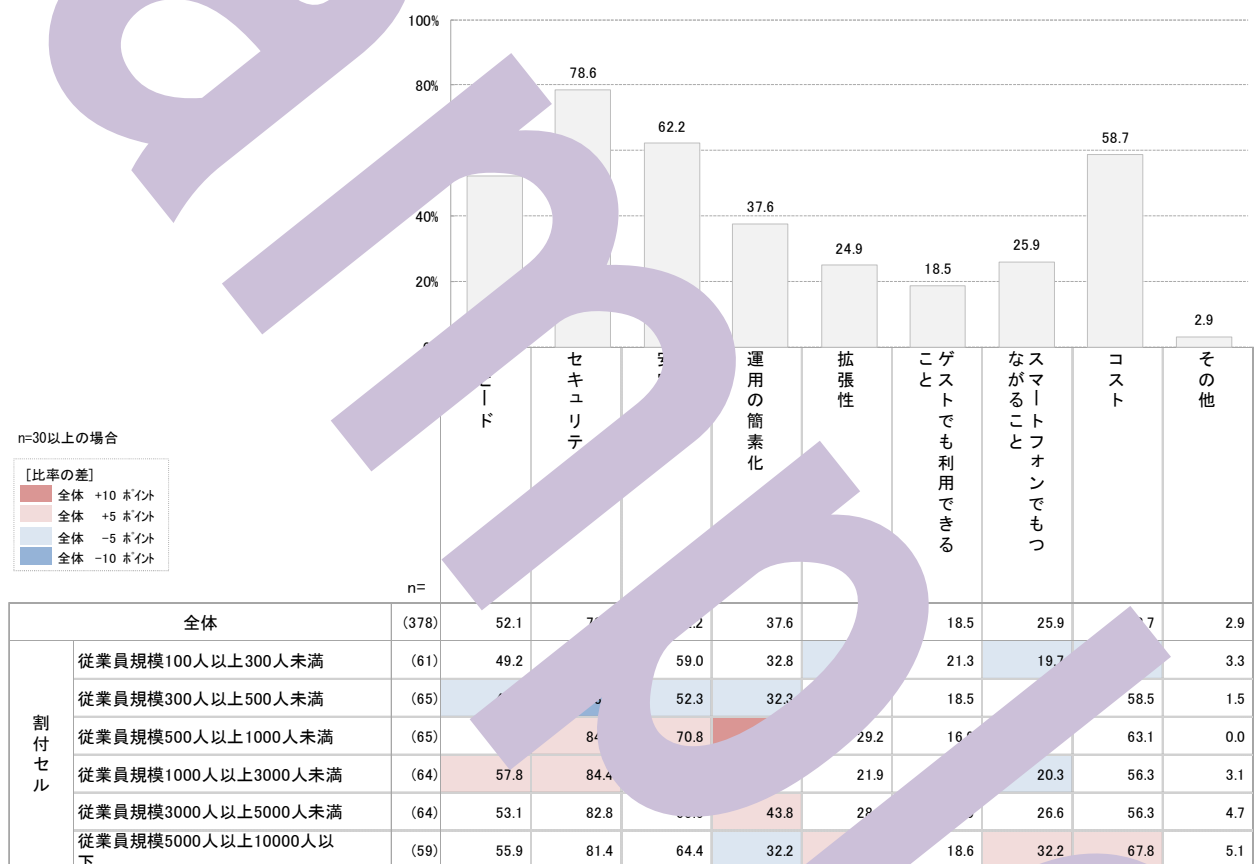
2.1 考えたポイント（複数回答）

無線 LAN は企業にとって非常に重要なインフラである。

導入するにあたって考慮しなければならないポイントは多くあり、企画者の悩みは尽きない。

あなたの会社で無線 LAN 導入時に考慮する・考慮した点をお聞きます。
無線 LAN 導入時に考慮した点として、あてはまるものを**すべて**お選びください。

上記の設問に対する結果を得



企業において、どれだけ便利であったとしても危険なものは導入できない。

今回の調査委においても、無線 LAN を導入時に考慮した点として、「セキュリティ」が最も多い。

これに加えて、インフラとしての性格から「安定性」(62.2%)や「スピード」(52.1%)も重要なポイント。営利を目的とした企業であれば当然に「コスト」(58.7%)や、それに直結する「運用の簡素化」(37.6%)も考慮しなければならない。

また、変化の激しい昨今の IT 環境では「スマートフォンでもつながること」(25.9%)、「ゲストでも利用できること」(18.5%)、「拡張性」(24.0%)も気になるところだろう。

企業が無線 LAN を導入する際に「セキュリティ」の確保は最重要ポイントであるが、インフラとしての“使い勝手”や“値ごろ感”、そして将来の変化にも対応できる“柔軟さ”も考慮しなければならない。企業ごとに最もバランスのとれた無線 LAN アクセスポイントを採用していると予想された。

2.2 無線アクセスポイントの機能差が無線 LAN 導入の決定打となるか？

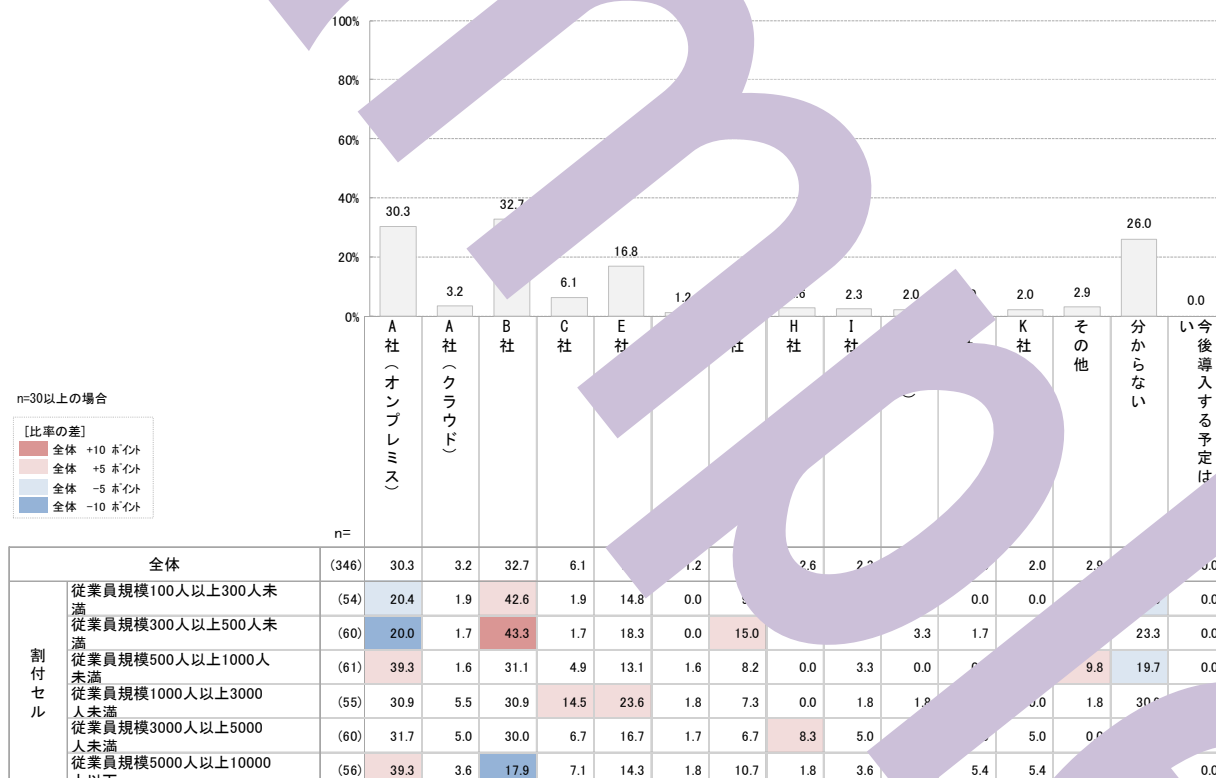
企業向け無線 LAN アクセスポイント機器は、提供する有力メーカー各社がそれぞれ独自に工夫して効率的に管理できるものになっている。例えば、集中管理された多数のアクセスポイントを配置することができたり、隣接するアクセスポイントのチャンネルを変えて電波干渉を軽減できたりする。こうした機能は家庭向けの製品に搭載されており、法人向けアクセスポイントならではだ。

企業が無線 LAN を導入する場合、無線 LAN アクセスポイントを採用することになる。

アクセスポイントは多くの機器メーカーから提供されているが、その機能差が導入の決定打となるか？

【設問】あなたが所属する企業での無線 LAN アクセスポイント機器の導入状況として、**現在導入しているもの**をすべてお選びください。

上記の設問から以下の結果が得られた。



無線 LAN アクセスポイント機器の導入状況として、規模の大きい企業で採用数の多い「A 社 (オンプレミス)」（30.3%）、規模の比較的小さな企業に好まれる「B 社*」（32.7%）の機器の導入が目立った。

（* いずれも、調査時には実際のメーカー名/機器シリーズ名を明記）